

第3学年1組 国語科学習指導案

- 1 単元名 せつめいのくふうについて話し合おう「すがたをかえる大豆」
- 2 単元設定の理由

【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期の説明文「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」で、「段落」という言葉を初めて学び、段落ごとに大事な言葉や文に気を付けて内容を読み取る学習を行っている。また、文章全体を「初め・中・終わり」に分け、初めで出た「問い」に対して、中で「答え」を述べ、終わりで全体をまとめていることも学習してきた。

そこで、文章全体の組み立てや段落相互の関係に着目させたいこの期に、中心になる言葉や文を捉えながら、何をどのように説明しているのか、説明の工夫を丁寧に読み取らせていきたい。



【教材について】

- 本単元は、中心となる語や文を捉えながら読むことを通して、それぞれの段落で、何をどのように説明しているのかを読み取ることをねらいとしている。
- 本教材は、「初め・中・終わり」の文章全体の組み立てがはっきりしており、事例を説明している「中」の事例の順序が、筆者の主張を伝えるのに工夫された説明文である。事例の各段落の一つ目に中心となる文が書かれていて、工夫→工夫の仕方→姿が変わったものと抽象から具体へ論が繰り返し展開している。そのため、説明の工夫を捉えるのに適した教材である。
- 本単元に関しては、1学期の説明文「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」で、段落ごとに大事な言葉や文に気を付けて内容を読み取る学習を行っている。本単元では、これらの上に立って、各段落の中心となる語や文、段落相互の関係をとらえることができるようにする。このことは、3学期の「ありの行列」で実験と考察を繰り返し述べる論の進め方へと発展していく。

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、文章全体の構成をつかんだ上で、中心となる語や文を捉えながら、何をどのように説明しているのか、説明の工夫を丁寧に読み取らせたい。そのために、視覚的に明確な表やマップを活用して、自分の読みやその根拠をグループで伝え合うことができるようにする。

【本時（5/7）では、こんな表現活動を】

事例⑥⑦段落で「おいしく食べる工夫」と「すがたをかえる」という点から、何をどのように説明しているのかを読み、それを伝え合うことで、「昔の人々のちえ」を捉え、事例の順序が筆者の表現の工夫になっていることに気付くことができるようにする。

3 目標

- 指示する語句と接続する語句の役割、大豆のすがたの変わり方や手間のかかり方などで順序立てて述べられている段落の役割について理解できるようにする。 (知識及び技能)
- 段落の中心となる語や文を捉えながら読み、文章全体の組み立てや段落相互の関係を捉え、事例の順序等の筆者の説明の工夫を読み取ることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力) 【読むこと】
- 言葉が持つよさに気付き、自分の考えを伝え合おうとする態度を育てる。 (学びに向かう力)

4 単元計画 (全7時間)

	学 習 活 動	主 な 支 援																			
つ か む ①	<p>1 教材文と出会い、単元のめあてと見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題名から「すがたをかえる大豆」の説明文を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・成長する順序、加工されるもの ○ 教材文を読み、単元のめあてと見通しをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元のめあて 筆者の分かりやすい説明のしかたの工夫を見付けよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「すがたをかえる」意味を考えさせるために、大豆の写真や実物を提示する。 ○ 説明の仕方の工夫にめあて意識をもたせるために、教材文の説明の分かりやすさを視点に読むことを確認する。 																			
つ く る ④ 本 時 5 / 7	<p>2 何をどのように説明してるか、中心となる語や文を捉えながら読み取る。</p> <p>(1) 主語・述語を考え、段落ごとの大まかな内容をつかむ。 (2) 初めと終わりから筆者の主張を読み取り、説明文全体の構成をつかむ。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">初め</th> <th style="width: 50%;">終わり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大豆はかたい、食べにくい 消化がよくない</td> <td>大豆は味がよい、畑の肉＝たくさんの栄養、やせた土地にも強い、育てやすい</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">・初め①② → 中③④⑤⑥⑦ → 終わり⑧</p> <p>(3) 中③④⑤の事例の内容を読み取る。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">③</td> <td style="width: 40%;">いちばん分かりやすいのは</td> <td style="width: 50%;">いる・にる→豆まきの豆・に豆</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>次に</td> <td>こなにひく→きなこ</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>また</td> <td>えいようだけ取り出す→とうふ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 中⑥⑦の事例の内容を読み取る。 (本時)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">⑥</td> <td style="width: 40%;">さらに</td> <td style="width: 50%;">小さな生物の力をかりる →なっとう・みそ・しょうゆ</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>これらのほかに</td> <td>とり入れる時期や育て方を工夫 →えだ豆・もやし</td> </tr> </tbody> </table>	初め	終わり	大豆はかたい、食べにくい 消化がよくない	大豆は味がよい、畑の肉＝たくさんの栄養、やせた土地にも強い、育てやすい	③	いちばん分かりやすいのは	いる・にる→豆まきの豆・に豆	④	次に	こなにひく→きなこ	⑤	また	えいようだけ取り出す→とうふ	⑥	さらに	小さな生物の力をかりる →なっとう・みそ・しょうゆ	⑦	これらのほかに	とり入れる時期や育て方を工夫 →えだ豆・もやし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容と工夫を読み取らせるために、「説明文マスターへの道」の進め方を提示する。 ○ 筆者が伝えたかった昔の人々の知恵を読み取らせるために、大豆の長所と短所を比較する活動を仕組む。 ○ 工夫→工夫の仕方→姿が変わったものと抽象から具体へ論が展開していることをつかませるために、中心となる語や文に着目させる。 ○ 事例の順序の効果に気付かせるために、段落初めの接続語の役割に着目させる。
初め	終わり																				
大豆はかたい、食べにくい 消化がよくない	大豆は味がよい、畑の肉＝たくさんの栄養、やせた土地にも強い、育てやすい																				
③	いちばん分かりやすいのは	いる・にる→豆まきの豆・に豆																			
④	次に	こなにひく→きなこ																			
⑤	また	えいようだけ取り出す→とうふ																			
⑥	さらに	小さな生物の力をかりる →なっとう・みそ・しょうゆ																			
⑦	これらのほかに	とり入れる時期や育て方を工夫 →えだ豆・もやし																			
深 め る ①	<p>3 筆者の分かりやすい説明の仕方の工夫をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事例の順序について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の姿が あるものから→ないもの ・おいしく食べる工夫が 簡単なもの→複雑なもの ・手間が 少ないもの→多いもの ○ 事例以外の説明の仕方の工夫について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成、段落相互の関係、段落ごとの書き方、文と文のつながり、接続語、写真 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例の順序の効果を確認につかませるために、短冊カードに書いた事例の順番を入れ替えて比較する活動を仕組む。 																			
生 か す ①	<p>4 自分が調べた事例が、説明文のどこに入るか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ なぜそこに入るのか自分の考えの根拠を出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・他の加工食品→どの段落に入るのか ・新しい工夫 →どこに段落を付け加えるのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例の順序の効果を確認するために、おいしく食べる工夫と食品の点から自分の調べた事例がどこに入るのかを考えさせる。 																			

5 本時主眼

- 「おいしく食べる工夫」と「すがたをかえる」という点から、何をどのように説明しているのかを読み取り、「昔の人々のちえ」を捉えることができる。

6 準備 マップ図

7 展開

段階	学 習 活 動 と 内 容	主な支援（※主な発問）
つかむ	<p>1 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな知恵を出してきたのか、前時の3つの段落の事例の内容と順序を確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・③いる・にる→④こなにひく→⑤えいようだけ取り出す（豆まきの豆・に豆）（きなこ）（とうふ） ○ 本時の事例の食品を確認し、本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> どんなちえを出して大豆のすがたをかえてきたのか、おいしく食べる工夫の仕方を読み取ろう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大豆の短所（かたい・食べにくい・消化がよくない）をなくし、「おいしく食べる工夫になっていたか」「姿を変えていたか」を意識するために、既習図を用いて前時の事例を振り返る。
つくる	<p>2 どんな知恵を出して大豆をおいしく食べる工夫をしてきたのか、自分の考えをつくる。（表現活動②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 段落の中心となる文と、大豆の短所をなくしおいしく食べる工夫になっているのかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・⑥ <u>さらに</u>、<u>目に見えない小さな生物の力をかりて</u>、<u>ちがう食品にするくふう</u>も（なっとう・みそ・しょうゆ） ・⑦ <u>これらのほかに</u>、<u>とり入れる時期や育て方をくふう</u>した食べ方も（えだ豆・もやし） ○ おいしく食べる工夫について、自分の考えをつくる。 	<p>【表現活動②の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べる工夫の仕方を説明している文や言葉を探す。（何をどのように説明しているか） ・そこから考えられるおいしく食べる工夫の仕方を書く。
深める	<p>3 考えたことについて友だちと話し合い、読みを深める。（表現活動③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループ→全体で考えと根拠を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・⑥ 目に見えない小さな生物→大きさ力を借りる→自然の力 人の力では作れない他の材料（米・麦・しお）→大豆だけではないむす くわえる おく 1日 →手間と時間むす にる・つぶす まぜる ふた 半年～1年 暖かい場所 風通しのよい暗い場所→場所が必要 ・⑦ やわらかいうちにとり入れ→畑は同じさやごとゆでる→豆を取り出す手間はいらぬ日光に当てない 水だけ→⑥より簡単 ○ ⑥⑦の事例の順序について考え、「昔の人々のちえ」の意味を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・③～⑥大豆を食べる工夫と、⑦大豆になる前のもの食べる工夫 →昔の人々の知恵ってすごいなあ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 小さな生物の力や他の食べ物も使って違う食べ物にしたり、育て方を変えたりして工夫して食べている。 </div>	<p>【表現活動③の目的・支援】</p> <p>筆者が言いたい「おいしく食べる工夫」と「姿を変える」をとらえるために、自分の考えを伝え合う。</p> <p>全員が自分の考えを説明できるように小グループ交流を組む。</p> <p>※ ⑥と⑦を比べると、⑥の方が手間がかかって大豆の姿が変わっているのに、なぜ先に書いてあるのだろう。</p>
生かす	<p>4 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ⑥⑦の事例をマップ図に書き、本時のまとめをする。 ○ 次時で筆者の分かりやすい説明の工夫をまとめることを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5つの事例の順序をまとめ、筆者の表現の工夫を追求する意欲を高める。